

市制施行日記念式典を開催します

豊橋少年少女合唱団による豊橋市歌合唱と市職員が作成した動画の上映を行います

私たちのまち“豊橋市”は、明治39年8月1日、全国で62番目の市として誕生しました。当時の人口は、およそ37,000人、戸数はわずか9,900戸でした。これは、現在の10分の1の規模です。戦前・戦後を通じて、幾度かの困難を乗り越え、東三河の中核都市として発展してきました。

豊橋市が誕生した8月1日、本市をこれまで育てていただいた方々に敬意を表し、この日の意義を広く浸透させるため「市制施行日記念式典」を開催します。

なお、今回は入場制限等は行わず、3年ぶりの通常開催といたします。

市制施行日記念式典（Toyohashi City 116th Anniversary）

— 8月1日は豊橋市の116回目の誕生日 —

日 時 令和4年8月1日（月）午前10時から（開場午前9時30分）

場 所 豊橋市公会堂

内 容 合唱 豊橋少年少女合唱団「豊橋市歌」等
ビデオ上映「受け継がれる思い～豊橋今昔～」
市長式辞、市議会議長挨拶
豊橋市表彰、豊橋市教育・体育・文化表彰
ビデオ上映「挑戦するまち 選ばれるまち 豊橋」
来賓祝辞、来賓紹介

参加者 どなたでもご参加いただけます。（事前申込不要）

その他 新型コロナウイルス感染予防について
マスクの着用、手指の消毒、室内の換気など徹底した感染症対策を講じます。

◇豊橋市表彰について

豊橋市表彰条例に基づき、市政に功労のあった方及び市民福祉の増進に貢献された方を市勢功労者として表彰します。

- 【文化振興】 鈴木 省 二 (すずき しょうじ) (91歳)
【産業振興(商工業)】 花 田 邦 司 (はなだ くにじ) (75歳)
【産業振興(農業)】 小 粥 道 夫 (こがゆ みちお) (74歳)

企画部秘書課 主幹 石川 (電話 51-2009)

◇豊橋市教育、体育、文化表彰について

■教育表彰

学校教育、学校保健衛生、社会教育など、教育に関する分野において、その振興・発展に貢献された個人または団体を表彰します。

(1) 教育賞

- 市 川 勳 (いちかわ たけし) (79歳)
紅 林 宏 昌 (くればやし ひろよし) (77歳)
大 谷 順 子 (おおたに じゅんこ) (74歳)
福 井 基 明 (ふくい もとあき) (68歳)

(2) 教育奨励賞

- 高 木 基 恵 (たかぎ もとえ) (75歳)
(特非) フロンティアとよはし

教育部教育政策課 課長補佐 戸荻 (電話 51-2809)

■体育表彰

スポーツ競技指導、大会での活躍など、スポーツに関する分野において、その振興・発展に貢献された個人または団体を表彰します。

(1) スポーツ賞

- 森 藤 泰 作 (もりふじ たいさく) (73歳)

(2) スポーツ奨励賞

- 笠 井 雄 太 (かさい ゆうた) (18歳)
東三河ジュニアスポーツ勉強会実行委員会

文化・スポーツ部「スポーツのまち」づくり課 課長補佐 鈴木 (電話 51-2693)

■文化表彰

芸術文化の普及・向上や文化財の保存・活用など、文化に関する分野においてその振興・発展に貢献された個人または団体を表彰します。

(1) 文化振興賞

- 亀 山 宗 法 (かめやま そうほう) (75歳)
若 嗟 瑞 与 (わかさ みずよ) (73歳)

吉 村 純 (よしむら じゅん) (58歳)
(特非) ひとすじの会

文化・スポーツ部「文化のまち」づくり課 課長補佐 木全 (電話 51-2876)

※ (敬称略・年齢はいずれも令和4年8月1日現在)

[市勢功労者]

■鈴木 省二（すずき しょうじ）（91歳）豊橋市飽海町

功績概要/【文化振興】

永年にわたり飽海人形浄瑠璃を保存・継承する吉田文楽保存会の活動に従事されるとともに、平成8年からは保存会会長として、保存会の統率・運営に尽力されました。また、豊橋市立豊城中学校において、伝統芸能の継承と人材育成にも情熱を注がれるなど、本市の文化振興に大きく貢献されました。

略歴/

昭和22年 飽海人形浄瑠璃芝居一座の旗揚げ活動に参加
 昭和46年6月 吉田文楽保存会副会長
 平成2年3月 飽海人形浄瑠璃が豊橋市無形民俗文化財に指定
 平成8年5月 吉田文楽保存会会長
 平成17年9月 豊城中学校において人形浄瑠璃ワークショップ開催（毎年）

主な受賞/

平成19年8月 豊橋市文化振興賞
 令和元年9月 豊橋文化賞

■花田 邦司（はなだ くにじ）（75歳）豊橋市前田町二丁目

功績概要/【産業振興（商工業）】

永年にわたり建設業界のリーダーとして、業界の発展に寄与するとともに、東三建設業協会会長を務めたほか、豊橋商工会議所常議員および建設業部会部会長として、地域経済の発展に尽力するなど、本市の産業振興に大きく貢献されました。

略歴/

平成2年7月 (株)花田工務店代表取締役社長
 平成7年8月 東三建設業協会会長
 平成13年11月 豊橋商工会議所常議員
 平成25年11月 豊橋商工会議所建設業部会部会長
 平成30年10月 (株)花田工務店代表取締役会長
 令和2年12月 (株)花田工務店取締役相談役

■小粥 道夫（こがゆ みちお）（74歳）豊橋市神野新田町

功績概要/【産業振興（農業）】

永年にわたり神野新田土地改良区の理事長として土地改良区の発展に努めるとともに、地域住民の意見を取りまとめて複数の県営土地改良事業の採択を得るなど、地域農業の発展に尽力され、本市の産業振興に大きく貢献されました。

略歴/

平成10年4月 神野新田土地改良区理事
 平成20年3月 神野新田土地改良区理事長
 平成20年3月 愛知県土地改良事業団体連合会豊橋支会理事

主な受賞/

平成26年3月 愛知県土地改良事業団体連合会愛知県知事表彰

令和元年11月 旭日単光章
令和3年11月 愛知県知事表彰（産業功労）

[教育表彰]

【教育賞】

■市川 勅（いちかわ たけし）79歳 豊橋市羽田町

功績概要/

昭和58年に豊橋市立栄小学校の学校医として就任以来、心身ともに健やかな児童生徒の育成を目標に、学校における保健管理や保健教育に尽力し、学校保健活動の推進に貢献されました。

略歴/

昭和58年 豊橋市立栄小学校学校医
平成16年 豊橋市立羽田中学校学校医

主な受賞/

平成5年 豊橋市学校保健会永年勤続表彰(10年)
平成15年 愛知県教育委員会永年勤続表彰(20年)
平成25年 豊橋市学校保健会永年勤続表彰(30年)

■紅林 宏昌（くればやし ひろよし）77歳 豊橋市二川町

功績概要/

永年にわたり学校敷地内の施設等の補修をボランティアで行うなど安全・安心な学校環境の整備に寄与されるとともに、生徒が奉仕作業を行う際に技能指導に加え、達成感を味わうことのできる貴重な機会の提供に尽力されるなど、学校教育の発展に貢献されました。

略歴/

平成22年 豊橋バスケットボール協会副会長
平成27年 愛知県スポーツ少年団常任委員
平成27年 豊橋スポーツ少年団副本部長

主な受賞/

平成14年 愛知県バスケットボール協会選手育成功労賞
平成17年 豊橋体育協会体育功労賞
平成20年 愛知県の体育協会功労賞

■大谷 順子（おおたに じゅんこ）74歳 豊橋市往完町

功績概要/

永年にわたり社会教育委員として数多くの活動に携わり、地域コミュニティや地域教育の推進に尽力されるとともに、女性として初めて豊橋市社会教育審議会会長を務めるなど、豊橋市の社会教育行政の発展に貢献されました。

略歴/

平成14年 羽根井校区社会教育委員会委員
平成19年 豊橋市選挙管理委員会委員

平成 20 年 豊橋市社会教育審議会委員
平成 21 年 豊橋市立羽根井小学校学校評議員
平成 26 年 豊橋市社会教育審議会副会長
平成 30 年 豊橋市社会教育審議会会長

主な受賞/

令和元年 愛知県社会教育委員連絡協議会表彰
令和 3 年 東海北陸社会教育委員協議会連合会表彰

■福井 基明（ふくい もとあき）68歳 豊橋市旭町

功績概要/

平成 22 年に豊橋市立植田小学校校長に就任以来、学校と地域の連携に尽力され、豊橋市立小中学校長会会長、愛知県小中学校長会常任委員等を歴任し、教育に対する強い信念と情熱、高い識見をもって学校教育の発展に貢献されました。

略歴/

平成20年 豊橋市教育委員会学校教育課教育会館館長
平成22年 豊橋市立植田小学校校長
平成24年 豊橋市立南部中学校校長
令和元年 (公財) 愛知教育文化振興会常務理事
令和 3 年 「のびるん de スクール」指導員

【教育奨励賞】

■高木 基恵（たかぎ もとえ）75歳 豊橋市新栄町

功績概要/

幅広い世代を対象とした絵画指導により、多くの教え子を公募展等に導くほか、様々な施設に絵画を寄贈することで日展・日本画家の実績を還元するなど、生涯学習の推進に貢献されています。

略歴/

平成13年 日本画教室「青羅」創設
平成29年 初心者の為のボランティア講座「えの会」開設
令和 2 年 「のびるん de スクール」絵画講師

主な受賞/

平成 14 年 上野の森美術館自然を描く展佳作
平成 15 年 信州高遠四季展秀作
平成 16 年 第 36 回日展初入選（以後、10 回入選）
平成 17 年 第 40 回日春展入選（以後、11 回入選）

■（特非）フロンティアとよはし（ふろんていあとよはし）

功績概要/

豊橋市立豊橋高等学校において、就職を希望している外国人生徒に対し、職業教育や資格取得のための講座のほか、企業と連携した講座を開設するなど、外国人生徒のキャリア教育に尽力され、多文化共生の担い手となり、地域で活躍する人材育成に貢献されています。

略歴/

平成10年 NPO法人「フロンティア」設立
平成18年 ボランティアグループ「フロンティアとよはし」として日本語指導や学習支援に特化した活動を新たに開始
平成22年 NPO法人化し、「フロンティアとよはし」設立

主な受賞/

平成 21 年 愛知県多文化共生推進功労者表彰（団体の部）

[体育表彰]

【スポーツ賞】

■森藤 泰作（もりふじ たいさく）73歳 豊橋市石巻本町

功績概要/

永年にわたり豊橋スケート協会の運営に携わるとともに、スポーツ教室などを通じた地域へのスケートの普及・発展、選手や指導者の育成に貢献されました。

略歴/

昭和 53 年 豊橋スケート協会指導員
昭和 63 年 （財）豊橋市体育協会評議員
平成 16 年 （財）豊橋市体育協会評議員
平成 24 年 豊橋スケート協会会長
令和 3年 豊橋スケート協会名誉会長

主な受賞/

平成 20 年 （財）豊橋市体育協会創立 80 周年記念感謝状
平成 25 年 （公財）豊橋市体育協会スポーツ教室指導者感謝状
平成 27 年 豊橋市スポーツ奨励賞

【スポーツ奨励賞】

■笠井 雄太（かさい ゆうた）18歳 東京都

功績概要/

全国高等学校総合体育大会柔道男子 100kg 超級で優勝。全日本柔道連盟男子 C 強化（ジュニア）選手に選出されるなど今後一層の活躍が期待されます。

略歴/

令和 3年 8月 全国高等学校総合体育大会柔道男子 100kg 超級優勝
令和 3年 9月 全日本柔道連盟男子 C 強化（ジュニア）選手選抜

■東三河ジュニアスポーツ勉強会実行委員会

（ひがしみかわじゅにあすぽ一つべんきょうかいじっこういいんかい）

功績概要/

平成 29 年の発足以来、ジュニア期のスポーツ活動に必要な知識の啓発のため、中高生、保護者および指導者を対象に、勉強会を定期的で開催するなど、スポーツを支える団体として貢献されています。

略歴/

平成 29 年 東三河ジュニアスポーツ勉強会実行委員会発足
平成 30 年 第 1 回東三河ジュニアスポーツ勉強会開催（現在まで 4 回）

[文化表彰]

【文化振興賞】

■亀山 宗法（かめやま そうほう） 75 歳 豊橋市東田町

功績概要/

山田宗徧がこの地に遺した茶の湯の精神を後世に伝承する茶道宗徧吉田流の二代目会長として研鑽に励まれたほか、豊橋茶道クラブ副会長を務められ、地域の茶道文化の普及・発展に貢献されました。

略歴/

平成 元年 茶道宗徧吉田流創流以降「和有茶会」や研究会「掬水会」を開催
平成 10 年 茶道宗徧吉田流の二代目会長
平成 10 年 豊橋茶道クラブ副会長
平成 30 年 茶道宗徧吉田流 30 周年記念式典を開催

■若嗟 瑞与（わかさ みずよ） 73 歳 豊橋市向山町

功績概要/

流派を超えて東三河の日本舞踊の各流の家元・会主が競演する「吉田をどり」の立ち上げから関わり、30 回の継続的な開催に尽力されたほか、豊橋邦楽大会や邦楽鑑賞会に出演するなど、地域の日本舞踊の普及・発展に貢献されました。

略歴/

昭和 40 年 八代目坂東三津五郎から坂東流師範、坂東三之葉を許される
昭和 51 年 若嗟会創流
昭和 55 年 若嗟瑞与リサイタル開催
昭和 59 年 第 1 回「吉田をどり」出演
平成 5 年 若嗟会において二代目家元若嗟瑞与を襲名
平成 22 年 第 2 回若嗟瑞与リサイタル開催
平成 31 年 第 30 回「吉田をどり」出演（30 回連続出演）

■吉村 純（よしむら じゅん） 58 歳 豊橋市吾妻町

功績概要/

声楽家として活動される傍ら、合唱指導者としても卓越した指導力で演奏技術の向上に取り組まれるとともに、子どもたちへの音楽指導にも力を注がれ、地域の音楽文化の普及・発展に貢献されました。

略歴/

平成 17 年 日独交流「音の架け橋コンサート」にてソリストとして出演
平成 17 年 男声合唱「ふんけんクラブ」指揮者就任
平成 18 年 豊橋 100 祭市民賛歌ベートーヴェン「第九」のソリストとして出演
平成 26 年 子どもたちの合唱団「SakuraCantabile」結成
平成 26 年 ライフポートとよはし開館 20 周年記念「みんなでつなぐ音のマラソンコンサート」で「土の歌」を指揮

平成 28 年 豊橋合唱協会会長就任

主な受賞/

平成 28 年 9 月 豊橋文化奨励賞

■ (特非) ひとすじの会 (ひとすじのかい)

功績概要/

演劇を通じて子どもたちに明治・大正・昭和と連なる郷土の歴史を伝えるため、幅広い世代から多くの市民の参加を得ながら、郷土の歴史を題材とした演劇公演に取り組み、演劇文化の普及・発展に貢献されました。

略歴/

平成 27 年 ひとすじの会発足

平成 28 年 演劇「ひとすじの糸」公演

平成 29 年 演劇「ひとすじの糸」再演

平成 30 年 演劇「神野新田物語 第 1 話：新田の完成」公演

令和 元年 NPO 法人化

令和 3 年 演劇「神野新田物語 第 2 話：開拓の時代」公演